

分野名		生体制御医学分野								
科目名		侵襲制御学								
英文科目名		Anesthesiology and Perioperative Medicine								
担当教員	研究指導教員									
	科目担当教員	高橋完教授、和藤幸弘								
代表的な研究課題		麻酔薬の臓器保護作用								
		敗血症								
		呼吸管理								
学修目標	一般目標	疼痛や感染、外傷などの侵襲を受けた患者に適切な治療ができるようになるため、侵襲が生体に及ぼす影響を理解し、生体の受ける病的変化が最小となるような治療に必要な知識と技能を習得する。								
	行動目標 (DPとの関連)	各種侵襲が生体に加わったときの病態を説明できる。						(DP2)		
		侵襲によって病的変化が生じた生体に対する治療法を説明できる。						(DP2)		
		病的変化を予防する手段を説明できる。						(DP2)		
		侵襲が加わった生体の予後を説明できる。						(DP2)		
学位授与方針 (DP)	DP1：医学・生命科学全般にわたる幅広い学識と生涯にわたり自立して研究活動を継続する能力を有している。 DP2：高い倫理観と高度の専門知識を有し、最先端の医学研究を企画・立案して遂行する能力を有している。 DP3：独創的な学術論文を論理的、かつ明確に記述して公表し、国内外の学会において発表し討議する能力を有している。 DP4：科学的技能を活かして、地域医療から国際保健・医療まで医療全般の進歩に貢献し、次世代の研究者育成にも貢献する能力を有している。									
教科書		ミラー麻酔科学 (MEDSi)								
準備学習	内容	教科書の該当箇所を読んでおくこと。								
	時間	30分/1回の授業あたり								
課題に対するフィードバック		レポート等の課題を提出させた場合は、内容のチェック・添削を行い、本人へフィードバックして理解度のアップをめざす。								
評価方法等	評価方法	口頭試問ならびに実技試験								
		評価配分：口頭試問 20%、実技試験 80%								
	成績評価基準	教育要項22頁[成績評価・単位認定方法等]参照のこと								
科目番号		講義	5021401	演習	5021402	実験実習	5021403	特別研究	50501037	
単位		4		4		4		6 (2-4年次で)		
		30コマ	60H	60コマ	120H	60コマ	120H	30コマ	60H	
開講時期		通年		通年		通年		通年		
配当年次	主科目とする場合	1または2年次		1または2年次		1または2年次		2-4年次		
	副科目とする場合	1、2、3年次		-		-		-		
選択/必修の別	主科目とする場合	必修		必修		必修		必修		
	副科目とする場合	選択		-		-		-		
時間割	区分		講義		演習		実験実習		特別研究	
	昼間	前期15週	水曜 5限目		月曜 4-5限目		金曜 4-5限目		土曜 2限目	
		後期15週								
	夜間	前期15週	月曜 7限目		水曜 6-7限目		金曜 6-7限目		月曜 6限目	
		後期15週								
備考		授業時間の詳細は、21頁 [医学研究科における授業時間] を参照のこと。 上記の時間に参加できない場合は、担当教員と協議の上、具体的な時間割を決定する。								

担当教員	講義		演習		実験実習		特別研究	
	高橋完教授		高橋完教授		高橋完教授			
授業内容	手術、外傷、重症感染、ショック、疼痛など、生体に加えられた侵襲が生体に対してどのように影響を及ぼし、それらの侵襲に対して生体がどのように反応するかについて理解するとともに、各種侵襲に対する治療法、そして様々な治療法や治療薬が人体に及ぼす影響についての講義を行う。具体的には、各種侵襲の病態とそれに合わせた治療法、侵襲に対する神経内分泌反応、各種麻酔薬、治療薬、鎮痛薬、鎮痛法などの手技が人体に及ぼす影響について講義する。		侵襲制御学の研究に必要な手法、臨床研究の技術、方法等に関する学術論文をもとに、セミナー方式で演習を行う。基本的な研究方法に加え、専門的研究・分析に必要な技術を指導し、得られた成績に対する考察と評価、情報の検索法、学術論文の理解と批判的能力を修得する。また、関連領域の幅広い知識を習得するとともに、セミナーなどでの発表、討論を通して研究の質と学生の思考判断能力や問題解決能力を高めるよう指導する。		侵襲制御学に必要な基本的実習と実際の研究に適用できる実験実習を行う。具体的には、各種麻酔薬の重要臓器に及ぼす影響を臨床の場で観察するとともにその機序を動物実験で解析する。実験方法として、侵襲が加わった状態における麻酔薬の臓器保護作用について、生理学的パラメータや各種サイトカインの測定、顕微鏡による形態学的検討などの手法を用いた解析等を行う。		各種麻酔薬、病態が血管平滑筋や骨格筋の張力および細胞内カルシウム変動に及ぼす影響	
授業場所	臨床研究棟1階 麻酔科学医局		臨床研究棟1階 麻酔科学医局		臨床研究棟1階 麻酔科学実験室		臨床研究棟1階 麻酔科学 他	
授業計画（インターネットに掲載）	講義	<a href="http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021401.pdf">http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021401.pdf</a>						
	演習	<a href="http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021402.pdf">http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021402.pdf</a>						
	実験実習	<a href="http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021403.pdf">http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021403.pdf</a>						
資格取得などのキャリアパス	特になし							
研究指導教員の実務経験	医師							
履修上の注意事項	①質問の受付は、随時行う。							
	②特別な配慮を必要とする場合は、事前に担当教員に相談すること。							
	③主科目として履修する場合は、1年次に共通科目実験動物学を履修すること。							
	④履修科目届にて履修希望を届け出し、履修年度の2月に、授業科目履修報告書にて、成績を報告することにより、修了要件の単位として認定される。							
	⑤履修報告の際には、履修した科目ごとに「授業改善のためのアンケート」を添付すること。							
オフィスアワー	高橋完教授（臨床研究棟1階 麻酔科学教授室） 月曜日 10:00～12:00（事前にメールでの照会必須） e-mail ktaka[at]kanazawa-med.ac.jp [at]→@							